



シリーズ

# 躍動する子どもたち！

このコーナーでは、隔月で市立学校の取り組みや児童生徒の活動の様子を紹介します。

教育指導課指導係 ☎ 0824-73-1184



ビブリオバトルで意見を交わし合う生徒（高野中学校）



ダンボの会の読み語り  
（西城小学校）



校内に掲示した親子読書カード  
（総領小学校）

## 総領小学校



総領小学校では、読書活動の取り組みとして、夏休みと冬休みに「親子読書」を行っています。

児童が選んだ本を、「読んでもらう」または「読んであげる」のどちらかを選び、その感想を親子で書くという取り組みです。

書いた感想は校内に掲示し、参観日などに保護者にも見ていただいております。「本の面白さを家族で共有できる」などの声が挙がっています。

また、月に一度、「読み語りの会ファンファン」さんに来ていただいております。児童は、季節や行事に合わせた本の読み語りを楽しんでいます。

さらに、図書委員会が年間の貸出冊数の目標を決め、多くの人に本を借りに来てもらえるよう「図書まつり」を企画し、本を読むことが好きになる活動を児童自ら仕組んでいます。

## 「読書活動編」

### 西城小学校



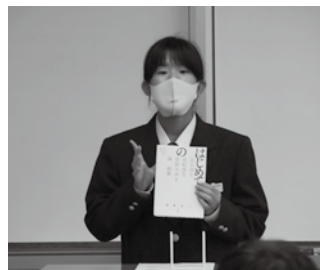
西城小学校では、毎年、図書委員会の主催による「図書祭り」を行っています。

令和8年度末にも、1年間の読書の振り返りを行い、今後の読書への意欲を高めるという目的の下、「ダンボの会」の皆さんの読み語りや、縦割り班での本の紹介、年間の貸し出し冊数の表彰などを行いました。

ダンボの会の読み語りでは、普段はあまり見ることができない大型絵本や郷土の昔話などに触れることができました。また、縦割り班での本の紹介では、1年生から6年生までの児童が、自分がお薦めする本を紹介し合った後、気になる本を読んだり、本の内容について質問したりする姿が見られました。

西城小学校では、これからも児童一人一人の読書の幅を広げる活動に取り組んでいきます。

### 高野中学校



高野中学校では、毎年、生徒会の文化図書委員会主催で校内ビブリオバトルを開催しています。

ビブリオバトルの学習を通して、読書の大切さを再認識するとともに、読書の魅力を語るという機会を通して、表現力を高めることを目的に実施しています。

本年度も、発表者（バトラー）は話し方や動作を工夫し、「この本を読みたい」と思わせる発表を行い、また、聞いている生徒は、発表後、即興的に感想や質問を交わすなど、双方向の話し合いができる会となりました。

開催後には、「発表はとて緊張したが、良い経験だった」「もう一度あの本を読みたい」などの感想が寄せられており、これからも読書の楽しさや大切さを考える活動を続けていきます。